

横浜市営地下鉄3号線の

延伸について

川崎市議会議員 山崎なおふみ

～来年度から横浜市の検討会に参画へ

昨年12月にJR東日本・東北新幹線の八戸―新青森間が開業したことで、東京―新青森間（全長713.7km）が全線開通となりました。地元の経済効果への期待は高く、青森県は「千戴一遇のチャンス」（三村申吾知事）とばかりに観光客の呼び込みや企業誘致に期待が高まっています。

現在、あざみ野駅から新「総合都市交通計画」への

位置づけを目指して、協議を重ねていく方針が示されています。

このたびの第5回定例会（平成22年12月17日）における私の質問に対して、今年度は数回に亘る協議を重ねてきたが▼来年度からは横浜市の検討の場に、本市として参画する意向が示されるとともに、事務レベルの協議のみならず、幹部同士の意思疎通も密にした上で、実現性の確保に努めて参りたいと小田副市長から強い答弁がなされました。

また、両駅の間には私鉄バスの路線運行がされていますが、最終バスの時間が早いことや直通運転が少ないことが3号線の延伸に対する期待を高めており、利便性向上の観点から私鉄バス会社に改善を求めるべきではないかとの質問に対し、「両駅間の最終バスの時間延長や直通運転の増便について、バス事業社に要望を伝えて参りたい」との回答がありました。詳細は川崎市議会ホームページの会議録にて閲覧が可能です。



山崎なおふみ プロフィール

- 昭和48年生まれ。37歳
- 明治大学理工学部卒
- 妻と2人の子どもの4人暮らし
- 趣味は俳句とクラシック音楽鑑賞
- 13年連続フルマラソン完走中

ホームページ
HPで市政ブログ毎日更新中!

山崎なおふみ

検索

QRコードを
スマートフォンで
読み取る



twitter

「つぶやき」でも情報配信中!
タイムリーな議員の
声をお届け